

保護者の皆様
(家庭数配布)

大田区立仲六郷小学校
校長 山本 秀一

令和3年度 大田区立仲六郷小学校保護者会(3/4、3/8) 全体会資料「令和3年度 学校についてのアンケートのまとめ」

令和3年度も最終月を迎えました。保護者の皆様には、ここまで本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。今年度も感染症拡大の影響は大きく、予定どおりできないことや縮小したことが多くありました。感染症対策と学びの充実との両立を図る上で難しい1年でした。最後の保護者会の機会に、本校における教育活動等の振り返りや反省とともに、今後に向けた考え方等についてお知らせいたします。今年度の成果等の検証に当たっては、11月下旬から12月上旬にかけて全児童・全保護者を対象として実施した「学校についてのアンケート」の回答集計を最も重要な根拠資料としました。右に児童の回答状況、裏面左側に保護者の皆様からの回答集計結果を示しています。質問項目ごとに上が昨年度(令和2年度)、下が今年度(令和3年度)の結果を表しています。昨年度との比較を通じて教育活動の改善を図ることを目的としているため、項目内容は同じものとししました。

【 児童を対象としたアンケート 】

13項目すべてで、肯定的な回答(よく当てはまる・当てはまる)の割合が8割以上となりました。昨年度と比較して、肯定的回答の割合が上がったものが9項目でした。全体を見渡すと、おおむね充実感を感じている児童が昨年度よりも多いようです。

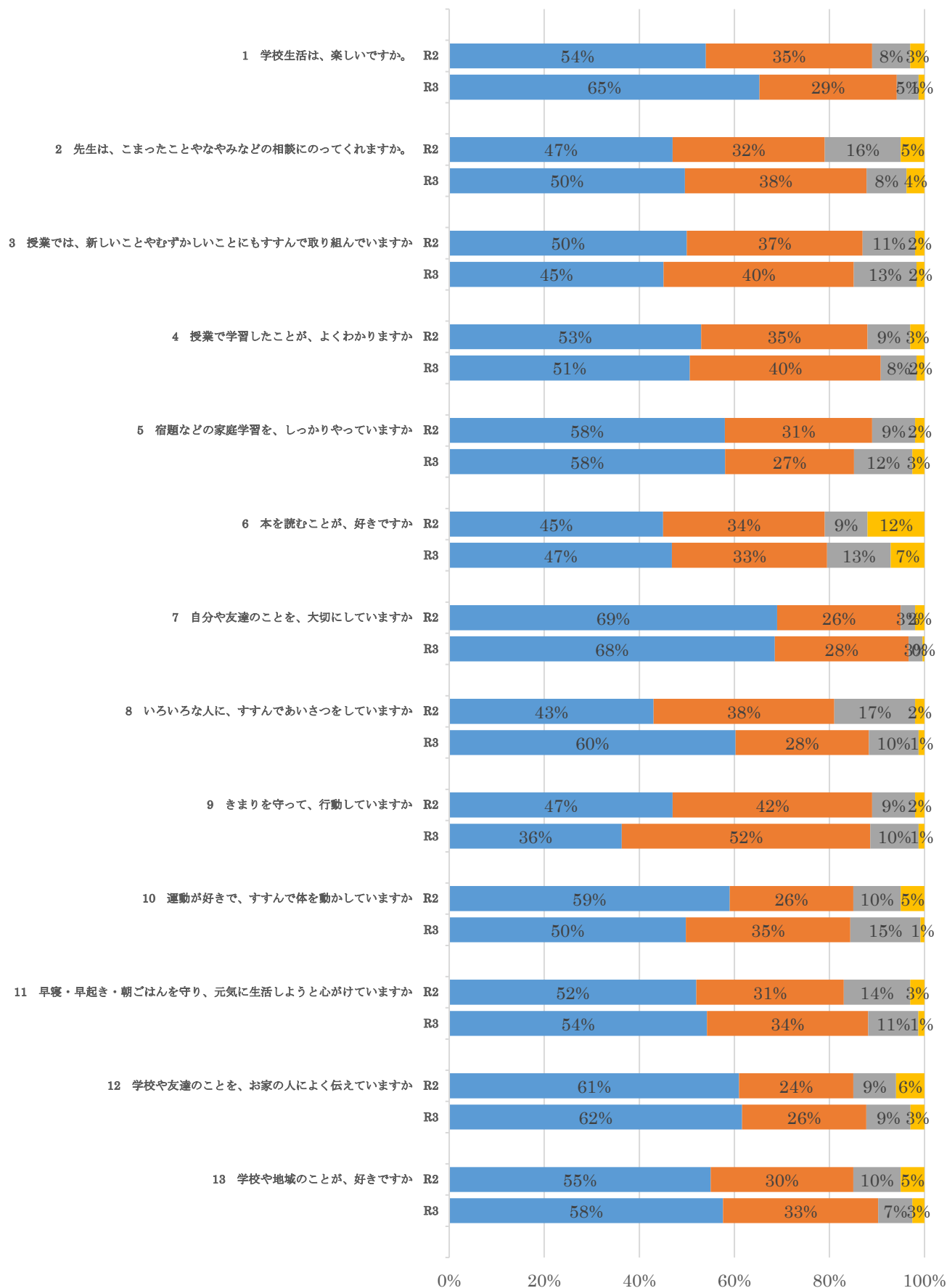
「2 先生は、こまったことや悩みなどの相談にのってくれますか」(+9ポイント)、「8 いろいろな人に、すすんであいさつをしていますか」(+7ポイント)、「13 学校や地域のことが、好きですか」(+6ポイント)などで、肯定的回答の割合の上昇が顕著です。また、「1 学校生活は楽しいですか」と「8 あいさつ(前述)」については、「よく当てはまる」の増加幅の大きさが特徴的です。今年度は4月当初から臨時休業もなく学校生活を送ることができ、児童が友達や教職員、地域との関わりをもつ機会が多くなったことが大きいと考えます。人と関わることの大切さを感じます。なお、「8 あいさつ」と「13 学校・地域(前述)」は、昨年度のアンケート集計で肯定的評価が特に下がった項目として挙げていたものです。3か年で比較すると「あいさつ」は(84%→81%→88%)、「学校・地域」は(88%→85%→91%)と、持ち直した形になりました。児童のがんばりや心がけのよさを感じるような結果です。

一方、肯定的評価の割合が昨年度より下がったものは「5 宿題などの家庭学習を、しっかりやっていますか」(-4ポイント)、「3 授業では、新しいことやむずかしいことにもすすんで取り組んでいますか」(-2ポイント)、「9 きまりを守って、生活していますか」(-1ポイント)の3項目でした。児童の学力や学習に対する興味・関心、取組への姿勢などの面の課題が感じ取れます。学習指導の一層の充実を、家庭とも連携しながら進める必要がありそうです。

昨年度末、「多様な読書活動を展開し、『読書好き』の児童を多くすることを目指す」としていました。今年度も読書学習司書や図書ボランティアの皆様などとも連携しながら読書活動を推進しましたが、今年度は新たに全校的にビブリオトークに取り組んだり、学校給食とのコラボレーションを図ったりするなど、活性化に向けた工夫の幅を広げました。読書量の増加にもつながりました。

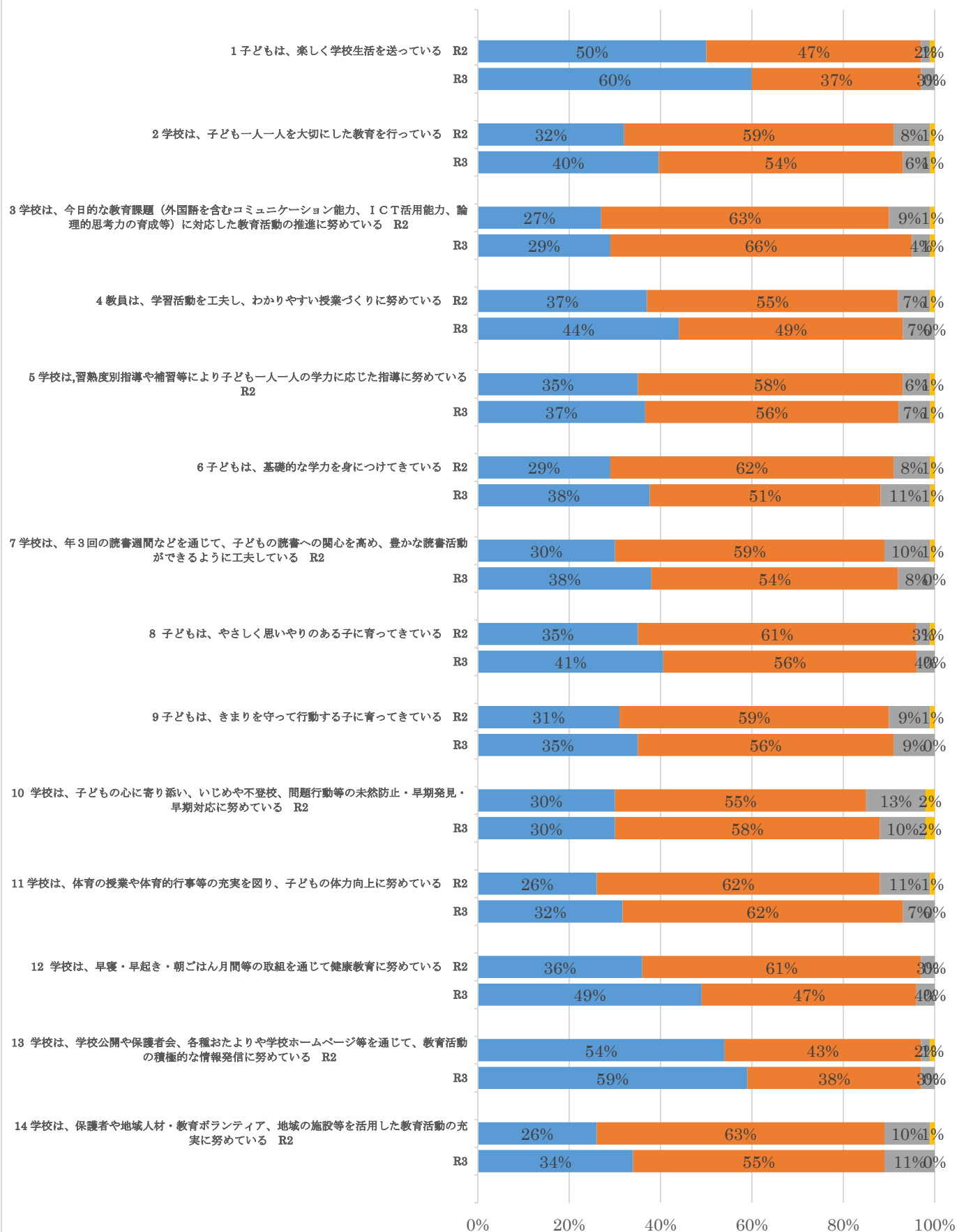
「8 本を読むことが好きですか」の肯定的回答は微増(+1ポイント)ですが、「当てはまらない」と回答した児童が昨年度から5ポイント減となったところに、取組の成果がよく表れています。

令和3年度 学校についてのアンケート（児童）



■よく当てはまる ■当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない

令和3年度 学校についてのアンケート（保護者）



※ 1%未満は四捨五入

■ よく当てはまる ■ 当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

【 保護者を対象としたアンケート 】

回答へのご協力、ありがとうございました。回収率が昨年度から3ポイント減少し、92%でした。今後も保護者の皆様の率直な声をできるかぎり広くうかがいたいと考えております。

14項目のすべてで肯定的回答の割合が85%以上となり、うち11項目で9割以上と、全体として大変高い評価をいただきました。昨年度との比較では肯定的回答の割合が8項目で増、2項目で減となりました。「よく当てはまる」の割合が下がった項目はありませんでした。

特に肯定的回答の割合が高かったのは、「1 子どもは、楽しく学校生活を送っている」、「8 子どもは、やさしく思いやりのある子に育っている」、「13 学校は、学校公開や保護者会、各種おたよりや学校ホームページ等を通じて、教育活動の積極的な情報発信に努めている」の3項目で97%に達しました。そのうち「1 楽しく学校生活（前述）」と「13 情報発信（前述）」は、「よく当てはまる」の回答が過半数を占めました。今後も魅力ある学校づくりに努め、その様子をわかりやすく積極的に発信していきます。

昨年度と比較すると、「11 学校は、体育の授業や体育的行事等の充実を図り、子どもの体力向上に努めている」（+6ポイント）、「3 学校は、今日的な教育課題（外国語を含むコミュニケーション能力、ICT活用能力、論理的思考力の育成等）に対応した教育活動の推進に努めている」（+5ポイント）で、肯定的回答の割合の上昇が顕著です。運動会、水泳、体力テスト、仲六道場等の取組を従来より縮小しながらも着実に実施してきたこと、導入された1人1台のタブレット端末でコンテンツを活用した学習を進めたり必要に応じてオンライン授業を行ったりしたことによるところが大きいと考えます。

なお、「11 体力向上（前述）」は、昨年度のアンケート集計で肯定的回答が特に下がった項目として挙げていたものです。3か年で比較すると（95%→88%→94%）とおおむね持ち直した形になりました。工夫して体力向上に取り組んできたことを評価していただき、ありがとうございます。

一方、肯定的回答の割合が昨年度より下がった2項目は「6 子どもは、基礎的な学力を身につけてきている」（-2ポイント、89%）と「学校は、早寝・早起き・朝ごはん月間等の取組を通じて健康教育に努めている」（-1ポイント、96%）です。いずれも大幅な減ではありませんが、特に「6 基礎的な学力（前述）」は、今後の大きな課題と捉えています。次年度はすべての学習の基盤となる言語能力・語彙力の向上を重視した学習指導に、一層努めてまいります。

【 自由記述欄より 】

記述によるご意見・ご感想も頂戴しました。詳細は割愛させていただきますが、集約の上で代表的なものを紹介させていただきます。なお、地域教育連絡協議会「ふるさと会」の皆様には、コメントをそのままの形でご覧いただいた上で、本校の学校関係者評価に参画していただきます。また、PTA活動に関するご意見などもいただきましたので、PTA会長とも共有していきます。

- コロナ禍における教育活動の工夫と推進に関する評価 ⇒ 今年度も不十分なことも多かったが、臨機応変に対応した。変更等の連絡を迅速に伝えるように努めた。日頃から学校ホームページ等を確認してくださる保護者が増え、伝達に役立った。今後も「児童にとって必要な活動かどうか」という視点で教育課程づくりを進める。
- タブレット端末の持ち帰り ⇒ 便利になったが持ち運びが重い、自宅で動画視聴ばかりしている、などといった声もある。持ち帰りについては、専用ケースに入れるほか、他の学習用具を減らしてランドセルにしまうなどの対応をしている。問題に感じる事があれば、直接ご相談を。また、貸与端末はあくまでも学習用。家庭での活用については、お子様と話し合いながら家庭内でのルールを決め、見守っていただくことが大切である。
- 校外での過ごし方に関する問題 ⇒ 校外を含む望ましい生活の在り方は、学級活動や道徳などでも指導するが、校外での過ごし方については保護者や地域の方々の見守りも必要。友達間での乱暴な言葉遣いなどについても、随時指導する。望ましい人間関係づくりには、学校だけでなく多くの関わりが必要である。お困りの際は、ご相談をお願いしたい。